

宇都宮市立平石中央小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的に学習に取り組み、考えを深める指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習方法や学習形態の工夫。 ・児童が必然性や生活との関連を感じるような話し合いの場面の設定。 ・学習の見通しや学習後の自分の成長を目指すようなめあてや課題の提示。 ・自己の考えの深まりを感じる振り返りの工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、書き表し方を工夫したり、指定された条件で文章を書くことは、市の正答率を上回り、書くことの基礎はできていることが分かる。予想される反論とそれに対する意見を書くことが苦手な児童が多く見られた。 ・様々な条件に応じて文章を書く活動を取り入れる。 ・自動車の製造工程についてと日本の工業の特色に関する問題では、市の正答率を下回った。引き続き、身近な出来事について関心をもたせ、日常生活と工業生産を関連付けて考えることが出来るように指導を継続していく。
・朝の学習や家庭学習の充実による学習習慣形成	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習の学習内容漢字や計算練習、読書に取り組む。 ・AIドリルの活用の推進 ・「家庭学習の手引き」活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きについては、市の正答率より低いものもあったが、漢字を読む問題では100%だった。 ・少数のかけ算や、文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題の正答率は市の平均を大きく下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

今年度は主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進を目指し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、始めに「何をするのか」が分かり、最後に「何ができるようになったか」が明確になる授業の展開に取り組んだ。その結果として、知識・技能に関しては国語・社会・理科に関しては宇都宮市平均を上回った。基礎基本を大事にしつつ、見通しを持つような単元の始まりの工夫や、単元の終わりに自己の向上や学級全体の成長を感じられる振り返りを行った成果が出ていると考えられる。しかし、思考・判断・表現については、国語・社会・算数で宇都宮市の平均を下回っている傾向が見られる。今後も今年度の取組を継続し、児童の思考力・判断力・表現力の向上を目指していく。